



花巣蜂

は ち す は な

令和8年3月17日 第12号
新潟市立赤塚中学校
全校生徒150名 男子76名 女子74名
TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313
E-mail j703akatsuka@city-niigata.ed.jp

第79回卒業証書授与式を挙行いたしました

3月3日(火)、学校運営協議会の皆さまをご来賓として、第79回卒業証書授与式が赤塚中学校体育館で挙行され、61名の卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。また、閉式後には、「旅立ちの日に」の全校合唱、「旅立ちの日に...」の卒業記念合唱が行われました。全校合唱は、卒業生の在校生に対する「赤中をよろしく頼む」といったメッセージが、在校生の卒業生に対する「赤中は任せてください」といった思いが感じられるすばらしいものでした。続く、卒業記念合唱では、卒業生がここまで成長できたことへの感謝と人生の一步一步を着実に歩いていくという誓いの気持ちを、会場を埋め尽くした保護者・地域・在校生・教職員に示してくれた感動的な合唱となりました。



「式 辞」

校長 ○○ ○○

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

冬の間、佐潟に羽を休めていた白鳥たちは、仲間と声を掛け合いながら、それぞれの目的地へと旅立つ季節を迎えました。皆さんもこの3年間、喜びや悔しさを分かち合いながら、仲間と共に多くの経験を重ねてきました。今日の卒業式は、その歩みの終わりではなく、新たな一步の始まりです。

皆さんが、中学校生活を通して身に付けてきたのは、学力だけではなく、目標や夢をもち、挑戦し続ける「自分を高める力」、あきらめず、ねばり強く考え続ける「自分と向き合う力」、そして他者を受け入れ、協力し合う「他者とつながる力」があります。こうした力は「非認知能力」と呼ばれ、これからの社会を生きていく上で、何より大切な土台となるものです。授業や学校行事、部活動、日々の学校生活の中で育ててきたこれらの力は、皆さん一人一人の中に、確かに根付いています。

卒業生の皆さんとの思い出を振り返ると、たくさんの方が思い出されます。県大会出場のかかる試合で、あと一步及ばず涙する姿。その後は、爽やかな笑顔に包まれていました。風輝祭では、学年の上下を問わずハイタッチを交わす姿。相手のチームにリスペクトを欠くことはありませんでした。合唱祭では、見通しをもって取り組み、振り返りから次の見通しをもって練習する姿。クラスの強みと課題を自覚し主体的に活動しました。そして、「クラス会議」を通して、自立的に思考し議論する姿。教師は、生徒と共に歩むことが何より大切だと学ばせてくれました。そんな姿をたくさん見せてくれた卒業生の皆さんに、改めて感謝します。ありがとう。

卒業生の皆さん。これから先、思うようにいかないことや、立ち止まることがあるかもしれません。そんなときは、佐潟に毎年戻ってくる白鳥のように、自分の原点を思い出してください。この学び舎で過ごした日々、支えてくれた人々、そして自分自身が積み重ねてきた努力が、皆さんを再び前へと導いてくれるはず。 「人生の攻略法」には一つの絶対的な正解はなく、一人一人にとって最適な選択肢があるだけです。大切なのは、自分にとって最適な選択肢を見つけ、自分の道を歩いていくことです。自分らしく生きていく、そのための「はじめの一步」が自分で自分の道を選ぶことなのです。皆さんなら絶対に大丈夫です。

佐潟の豊かな自然と、人と人との温かなつながりの中で学んだ経験は、卒業生の皆さんの心の支えとなり、これからの人生を歩む力となることでしょう。最後に、ここにお集まりいただきました皆様一人一人の未来が、希望に満ちたものとなりますことを心から祈念し、式辞といたします。



今回の卒業式では、在校生代表として2年A組〇〇〇〇さんが「送る言葉」を、卒業生代表として3年A組〇〇 〇さんが「別れの言葉」を述べました。



「別れの言葉」

卒業生代表 3年A組 〇〇 〇さん

「昨日といひけふと暮らして明日香川 流れてはやき月日なりけり」これは古今和歌集に収録されている、春道列樹という人の歌で、「昨日今日と過ごしていくうちにまるで川の流れるように早く月日が過ぎ三度目の厳しい冬を乗り越え、健やかな春の訪れを感じる季節になりました。本日は私たちのために、このような厳かな卒業式を挙行していただき、卒業生一同心より感謝申し上げます。



赤中で過ごした3年間を思い返してみると、たくさんの思い出が溢れ返ってきます。

3年前の春、少し大きい制服に包まれ、新しい環境に不安や期待を抱きながら入学してきた私たち。初めは新しい環境や仲間との関わり方に苦労することもありましたが、様々な学校行事や部活を通し、絆を深めることができました。

2年生になると学校生活にも慣れ、行事では中心として活動することも多くなりました。仲間と過ごした時間も長くなり、風輝祭や合唱祭では一体感がより強まりました。また部活動では3年生が引退し、新チームとしての活動が始まりました。クラブ化への移行など、これからの活動について悩んだこともありましたが、また、思うように上達せず、壁にぶつかったこともよく覚えています。

そして迎えた3年生。最高学年として過ごした一年は毎日が宝物でした。4月の関西方面への修学旅行では、初めて見る景色や人々との出会いに胸が高鳴りました。6月の最後のバスケットボールの大会では、目標にしていた県大会への出場できず、最後の大会となってしまいました。悔しさは残りましたが、たくさんの時間を共にし、辛い時も声を掛け合い、最後まで共に戦った仲間と過ごした日々はかけがえのない大切な思い出です。9月には最後の風輝祭がありました。徒競走では最後まで1位になることはできませんでしたが、応援パフォーマンスでは全校で声を出し、お互いの軍を鼓舞し合いながら、学年や軍を超えて絆をより深めることができました。10月の合唱祭では、3年間実行委員を務めた私にとって特別な思いがありました。最初は思いが一つにならず不安なこともありましたが、話し合いや練習を重ねる中で団結力が強まり、本番では3年間の集大成である私たちらしい「証」を届けることができました。

楽しい日々はあっという間に過ぎ、最後の行事も終わっていきました。本当に、かけがえのない3年間でした。そんな素晴らしい日々を過ごすことができたのは、たくさんの方々の支えがあったからです。まず、今日まで私たちを支え、時には優しく時には厳しく叱ってくださった先生方。授業中から昼休みの何気ない時間までいろいろなことを教えてくださいました。進路について悩んだ時には真剣に向き合ってください、心強い存在でした。また、私たちの見えないところで学校を支えてくださった地域の皆様。皆様の支えがあったからこそ、私たちは安心して学校生活を送ることができました。

そして、在校生の皆さん。皆さんにはこれまでたくさん助けられてきました。風輝祭で学年の壁を越え笑い合ったこと、様々な行事を盛り上げてくれたこと、そして私のつまらないダジャレに付き合ってくれたこと。私たちがこんなにも幸せな時間を過ごせたのは在校生の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。在校生の皆さんはこれからたくさんの経験をする中で、困難にぶつかることもあるかもしれませんが、仲間を信じ、自分の個性を大切に、自信をもって前に進んでいってください。そして、何よりも笑顔と感謝を忘れずにたくさんの思い出を作っていってください。私たちは皆さんのことを応援しています。頑張り。

最後に、どんな時も私たちの味方でいてくれた家族。朝早くからお弁当を作ってくれたり、部活動の練習試合や大会の送迎をしてくれたりしたこと。そして進路について悩んでいたときに、「どこの高校に行っても楽しいよ」と前向きな言葉をかけてくれたこと。本当に毎日ありがとう。これからも、たくさん迷惑をかけてしまうかもしれないけれど、温かく見守っていてください。これからもよろしくお祈りします。

私たちは本日をもって赤塚中学校を卒業します。ここで出会った友達や先生方との別れは寂しいですが、三年間を通し経験したことや思い出を胸に、それぞれの道を力強く進んでいきます。

結びに、赤塚中学校のますますのご発展と、在校生ならびにご臨席の皆様のご健康とご活躍を祈念しお別れの言葉といたします。



「送る言葉」

在校生代表 2年A組 OO OOさん

ご卒業される皆さんは今何を感じ、何を思われていますか。私は先輩方の晴れ姿を見ることができ、うれしいという気持ちとは裏腹に、寂しさと不安を抱えています。それはきっと先輩方の姿が私たちにとって、どれほど大きく、大切な存在であったかを改めて実感しているからだと思います。先輩方は、日々の学校生活や行事の中で常に先頭に立ち、私たちを導いてくださいました。その前を向き続ける先輩方の背中には、覚悟と誇りを物語っていました。



風輝祭では、懸命に取り組んでいる姿、全力で楽しんでいる姿がとても印象的でした。またその姿は私たち在校生に大きな力と希望を与えてくださいました。それは今でも私たちの胸の奥深くに刻まれ、前へ進む支えとなっています。その結果、風輝祭では勝敗以上に、先輩方の存在の大きさを感じ取るかけがえのない一日になりました。

そして、私が何より心に残っていることは合唱祭です。初めて先輩方の合唱を聴いたときは、重なり合う美しい歌声に圧倒されました。先輩方の歌声は、まっすぐと響き渡る一本の道のように、力強い意志と一体感を感じました。その姿から、仲間と心をつなぐことの大切さと、最後までやり抜く強さを学ぶことができました。そして特に心に残っていることは、本番直前に円陣を組み、互いに励まし合う先輩方の姿です。その真剣な眼差しと力強い声から、仲間を信じる強さが伝わってきました。

その姿は、部活動においても終始変わることはありませんでした。日々の活動ではもちろんのこと夜練などで真剣に打ち込む姿を間近で目の当たりにし、「これが努力する」ということだと身をもって学ぶことができました。だからこそ今度は、私たちが先輩方の築いてこられた伝統を大切にしながら、さらにより良いものへと発展させていきたいと強く感じています。

これまで私たちを温かく導き、支えてくださった先輩方に心から感謝申し上げます。先輩方の努力や仲間を思う姿勢は、これからも私たちの心の支えであり、目標です。その背中を追いかけながら、私たち在校生もさらに成長していきたいと考えています。どうかこれからも自分らしさを大切にし、新たな場所でも輝き続けてください。先輩方の未来が希望に満ちた素晴らしいものであることを、心よりお祈り申し上げます。

先輩方はそれぞれの夢や希望を胸に、新しい世界へと歩いて行かれます。その道のりには、喜びや達成感に満ちた出来事だけでなく、思い悩み、立ち止まりたくなるような瞬間もあるかもしれません。しかし、これまでの仲間と励まし合いながら努力を重ね、多くの経験を積み上げられてこられた先輩方なら、どのような困難にも必ず立ち向かっていけると私たちは信じています。これまで築いた絆や挑戦の日々は、これからの人生を支える大きな力となるはずです。どうか自分自身の可能性を信じ、前を向いて一步一步進み続けてください。そして、先輩方らしい優しさと笑顔をいつまでも大切にしてください。私たちはこれからも、心から先輩方を応援しています。最後になりますが、ご卒業、誠におめでとうございませす。卒業生の皆さんの、ご健康とご活躍を心から願い、送る言葉といたします。



第79回卒業生 同窓会入会式が行われました

2月25日に赤塚中学校同窓会長 ○○ ○○ 様をお招きし、第79回卒業生の同窓会入会式を行いました。同窓会長あいさつで○○様は、「社会に出て生活して生きていくためには、責任を果たさなければならないことがたくさんあります。そのため、責任感をもたなければなりません。時には厳しさに耐える強さをもつことが欠かせません」との心のこもったメッセージと励ましの言葉をいただきました。



続いて、第79回卒業生を代表し、3年B組 ○○ ○○さんが、「私たち61名は、中学校生活を終え、新しい世界へと飛び出します。4月から始まる新しい生活では、赤塚中学校で学んだことや経験したことを生かし、全力を尽くしたいと思います。そして、赤塚中学校の卒業生として、先輩方から認められ、後輩たちから目標にされるように努力していくことを誓います」と力強く同窓会入会の言葉を述べました。

学校運営協議会で次年度の学校経営方針について承認いただきました

2月13日（金）、令和7年度 第4回学校運営協議会を実施しました。まず、1・2年生が「最高学年として、中堅学年として、よりよく成長するためには、どんなことを大切にしたらよいか」について、「クラス会議」で話し合う様子を授業公開しました。委員のみなさまには、生徒たちが、令和7年度に《向上を目指す3つの力》（「自分を高める力」「自分と向き合う力」「他者とつながる力」）に焦点を当て、それぞれの力をバランスよく高めていくために取り組んできた実践を振り返り、車座になって話し合う様子を参観していただきました。学校運営協議会の委員のみなさまからは、どの生徒も自分の考えや意見を全体の前で発表することができていたことから、積み重ねてきた成果が現れているとの評価をいただきました。また、他の生徒の考えや意見に同調しようとする面がないよう、話し合い活動で教師がしっかりと見取っていくことの必要性についてのご指摘をいただきました。

続いて、学校運営協議会では、はじめに教頭から、令和7年度後期の生徒・保護者・教職員アンケートの結果と、分析から明らかになった成果と課題、次年度への展望が説明されました。その中で、「見通し」をもち「行動」し、「振り返り」から次の「見通し」をもつ取組が有効であると思われることから、次年度も「AAR サイクル」を学校運営の基本とすることが承認されました。また、学校行事の目標立案や振り返り、学年や学級の課題解決に向けて、「クラス会議」で自立的な話し合い活動を続けてきた成果がアンケート結果に表れていると考えられることから、「クラス会議」を継続して実践していくことに賛同をいただきました。そして、令和8年度も『すべての生徒が3年間を楽しく過ごせる学校』の実現に向け、《向上を目指す3つの力》（「自分を高める力」「自分と向き合う力」「他者とつながる力」）に焦点を当てた取組を継続することが承認されました。細かな議事の内容は、「学校運営協議会だより（CS だより）」に記載されていますので、併せてご覧ください。

赤塚中学校生徒会が潟フェス2026に参加しました!!

2月11日（水）、新潟日報メディアシップ日報ホールにおいて、「潟フェス2026」が開催されました。赤塚中学校代表として、2年A組の生徒会長○○○○○さん、生徒会副会長の○○○○○さんと○○○○○さんの3名が参加し、佐潟クリーン活動や白鳥環境愛護委員会の活動、赤塚中学校における白鳥保護活動や佐潟の環境保全活動の歴史などについて、プレゼン資料をもとに発表しました。また、「佐潟と歩む赤塚の会」の○○○○様からは、佐潟のハス復活プロジェクトについて、赤塚小学校の児童の取組についても紹介していただきました。佐潟の豊かな自然に囲まれ、伸び伸びと活動している生徒たちの様子に、会場からは温かな拍手をいただきました。



4月の主な予定

| | | | |
|--------|----------------------------|-----------------------------------------|-----------------------|
| 4/7(火) | 着任式・始業式・入学式・1学年PTA役員会・弁当持参 | 4/18(土) | 3年生修学旅行（～20日） |
| 8(水) | 身体計測・知能検査・生徒会入会式・給食開始 | 21(火) | 3年生代休日 内科健診（2年） 部休日 |
| 9(木) | NRT 全校集会 尿検査一次 | 23(木) | 尿検査二次 全国学テ（国・数・英・質問紙） |
| 10(金) | NRT | 24(金) | 部休日 |
| 13(月) | 専門委員会 PTA 理事会 | 27(月) | 内科健診（1年） |
| 14(火) | 心電図検査 | 28(火) | 歯科健診 |
| 15(水) | 内科健診（3年） | 29(水) | 昭和の日 |
| 17(金) | 3年生代休日 | 5/13(水)授業参観・PTA 総会 18(月)生徒総会 19(火)～教育相談 | |

